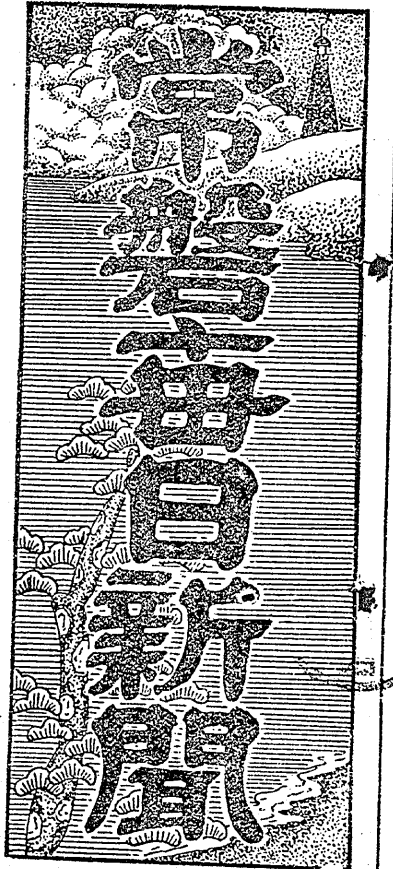


【刊夕】日十二月八



原五稅郵錢十五月一 錢貳金部一 刊休日祭曜日 錢05行 誌字21號5料告廣 治文崎川 人刷印人輯編兼行發 五三町橋長町平郡城石縣島福 番〇三六話電 社開新日每警常 所行發 社會式株刷印日每警常 所刷印

慈恩の塚なり (二)

眞 繼 雲 山

昔の日本には仇討といふことが流行したが、若し汝のために命を奪はれたる無数の生類が、汝に向つて仇を報ずるとせんには、恐らく汝の肉身は何百あつても足りぬであらう。

期することが人間の生き甲斐でもあり、この世への奉仕でもある。

さて何を遺したのか人は死して名を残すべしとなし人をして豹の皮の相棒を勤めさせやうとする。萬人も亦たそれを望んでゐるやうでもあるが、片々たる人間の評價や名譽が何になる。況んやその評價の水準は時代と共に變易するをや現に露西亞へゆけば、帝政時代のローマノフ家の忠臣は今や國賊として踏みこられてゐるではないか。

に己が命をいけにえとしてくれたる無量の生類の洪恩に謝すべきだと思ふ。不況や貧乏ぢやと贅澤を並ぶべきではない、我がこの肉身の生こそは罪惡の塚であり慈恩の塚である。

萬古不易の道 人生五十年は矢の如くであるとして、何れは生者必滅と知るからは、せめて何がなその没後に遺しておき短き五十年の延長を期したいとは單なる人情として然るべきのみならず、左様に

たゞ一つ茲に永久性のものがある、それは萬古不易の眞理であり、その一法を開顯したものに佛教がある衆生濟度としての佛の道を遺しておくことは千古萬古かはりなき聖業としてのこの世への奉仕である。



『昨日の夢』

大竹 秋 平

昨日の夢を探さうと

さかさうと

今日城山に來てみれば

來てみれば

昨日の夢の人はなく

人はなく

風芒が泣くばかり

泣くばかり

昨日の夢を捨てやうと

捨てやうと

舞子の濱に來て見れば

來て見れば

啼く音淋しい波の鳥

波の鳥

赤い落陽がひよがない

度量衡、計量器、吸入用酸素、酸素吸入器
關内藥局
電話四〇番

内科 難波 睦
平町新川端(釜屋新宅向)
醫學博士
電話五〇二番

債券・公債・爲替金融
多田井質店
平町大工町
電話五九一番

セメント 壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
磐城セメント株式會社
代理店 西村屋藥舖
平町二丁目(電三)

お商用ニ
タクシ―電 五六九
六三二
ドライブニ
イワキタクシ―

暑の中心は!!!
目下人氣
御 金光堂の時計
時計、眼鏡、貴金屬類
蓄音機レコード其他
修繕物大勉強
御 何
平五丁目
電話一九五番

貸切の!!!
御用命はゼヒ
電話三九五番
芹澤自動車商會
タクシ―部
貨物運輸部

夏服
輕快な夏服の季節となりました。スマートな新製品が豊富に取揃へて御座ひます。
平二かかや洋服店 電203

あく迄男らしく闘へ

橋本會長が選手激勵

けふの郡下青年体育大會

應援團の歡聲四邊を壓す

各選手の記録

既報石城郡聯合青年團主催
体育大會は本日午前九時半
より磐中グラウンドに於て
開催、先づ選手二百六十七
名が

連日の 猛練習振りを

偲ばせる赫顔を連らねて堂
々入場式を行ひ君ヶ代を合
唱、會長橋本文壽氏の開會
の辭に移り「飽迄も卑怯を
廢して男らしく闘へ」と激
勵する處あり前年の優勝團
たる

内郷村 青年團より優

勝旗を返還し審判長小野寛
美氏の訓示あつて百米競走
を皮切りに愈々競技開始と
なつたが炎天下と雖も涼風
頻りに來つてコンデション
ンよく各町村から押掛けた
應援團の歡聲四邊を壓して
非常の盛況を見せた因に午
後三時迄の競技の結果は左
の如くである

豫選ノ部

△百米 A組

1 石田伸六郎(平)

(記録十二秒二)

2 西田 功(湯本)

B組

1 瀧口今朝吉(内郷)

(十二秒)

2 山内龜代司(草野)

C組

1 草野 仁(小名濱)

(十一秒三)

2 坂本 誠(大浦)

△千五百米 A組

1 田村 勇(湯本)

(四分四十六秒六)

2 寒河江武雄(内郷)

3 粥 塚 豊(草野)

4 高野 武彦(四倉)

B組

1 泉 美一(好間第一)

(四分五十八秒)

2 猪狩 廣太(平)

3 鈴木 幸平(大浦)

4 高萩芳長(箕輪第一)

△四百米 A組

1 坂本 誠(大浦)

(五十六秒八)

2 大井川四郎(山田)

B組

1 大谷 岸雄(内郷)

(五十六秒五)

2 高橋小十郎(湯本)

C組

1 石田伸六郎(平)

(五十六秒五)

2 阿部勝美(高久)

△八百米リレー A組

1 湯本チーム

(一分四十四秒四)

2 田人チーム

B組

1 内郷チーム

(一分四十五秒)

2 四倉チーム

C組

1 平チーム

(一分四十六秒)

2 大浦チーム

決勝ノ部

△砲丸 投

1 佐藤 兼介(泉)

(記録十一米五〇)

2 西牧 清富(内郷)

3 山内龜代司(草野)

4 遠藤 七郎(湯本)

5 山下 卓(神谷)

△柔道

1 林 恒 男(好間)

2 中根武夫(小名濱)

3 志賀 傳吉(神谷)

4 片寄 秀士(四倉)

5 中野秀夫(勿來第一)

△一萬米

1 工藤 一郎(内郷)

(三十八分十一秒八)

2 吉田 菊美(泉)

3 清水 明(湯本)

4 船生新一(赤井第一)

5 荻野 益(小川)

△走 巾跳

1 佐藤 兼介(泉)

(六米四一)

2 西田 武夫(湯本)

3 瀧田 武一(四倉)

4 瀧口今朝吉(内郷)

5 折笠 博茂(平)

△百米

1 草野 仁(小名濱)

(十一秒四)

2 瀧口今朝吉(内郷)

3 石田伸六郎(平)

4 山内龜代司(草野)

5 坂本 誠(大浦)

△四百米

1 石田伸六郎(平)

2 高橋小十郎(湯本)

3 坂本 誠(大浦)

4 大井川四郎(山田)

△四百米決勝は一着大谷

岸雄(内郷)なるもタツチ

した、しないの問題起り

場内は總立ちの大騒ぎと

なりたるも結局タツチし

たと決定 二着石田伸六

郎(平)一着となつた

△千五百米

1 泉美一(好間第一)

(四分四十五秒)

2 田村 勇(湯本)

3 粥 塚 豊(草野)

4 猪狩 廣太(平)

5 寒河江武雄(内郷)

△走 高跳

1 瀧田 武一(四倉)

(一米七五アルファ)

2 富澤 敏夫(湯本)

3 江連 正見(内郷)

4 志賀重郎(好間一)

5 高野 修二(平)

△八百米リレー

1 内郷チーム

2 湯本チーム

3 平チーム

湯本青年團優勝す

陸上競技は得点數左記の如くにて前年の覇者内郷村
惜敗し湯本青年團優勝と決定した

- 二五 湯本
- 一五 平
- 九四 倉
- 二三 内郷
- 一四 泉

一萬米の競走中

選手二名が卒倒

重態を傳へられ救護班急行

體育大會の呼び物一萬米競
走は正午頃磐中のスタート
を出發平窪小學校迄の往復
を韋駄天走りにつつたが折
柄の炎天の爲め歸途平町選
手伊藤猛君は平窪村地内、

勝者は左記の如く決定した
武道は小名濱青
年團八點にて優
勝した

浴場看守減俸

石城
郡内郷村磐城炭礦では同炭
礦共同浴場看守人十二名の
給料(二十圓乃至十八圓)で
一般労働者の給料に比し高
いので一割値下げする旨十
八日發表した

平町人口動態

平町
に於ける一月から七月迄の
人口動態は出生五五八名死
亡三一九名婚姻一三三組離

募 集

上品なる美人(十八才ヨリ廿五才)

職務は食堂給仕 月收五十圓以上確實

壽し職人 一名 大 至 急

見 習 一名

くろねこ

杵 壽 司

平町三丁目(電六七九)

父久次郎新益の處時節

柄提灯御供物其他一切

御辭退申上候

昭和六年八月

月見町 根本一馬

婚七組であるが出生は男二
四〇女三一八名で女の方が
斷然多い

第二校早起日

平町
第三小學校では二十一、卅
の兩日間早起きデーとして
三學年以上全児童午前五時
半校庭へ集合々同體操を行
ふ尙二十一日から五日間夏
期運動競技練習を行ふ筈で
あると

平町人事

△出生
△長崎町一七 今宮喜一郎氏二男徳
治
△立町一九 正木貞衛氏長女登子
△死 亡
△立町一 矢吹重吉(三九)

簡易生命保險

十月一日から

契約其他手續を 平郵便局が發表

来る十月一日から實施される小兒保險は十二歳未満の小兒の爲めに新に簡易生命保險の門戸を開くものであるが、これが實施に伴ふ契約手續及び保險金額等を平郵便局に問合すればその主なる事項は次の如くである。

- 一、契約の申込みは現行簡易保險と同様申込書に必要事項を記載しこれに第一回保險料を添へ郵便局又は勧誘員に申込む事
- 二、保險料の拂込は現行保險と同様月掛及び集金制であるが同時に二つ以上の契約申込をなした場合は保險料は原則として併合して拂込むこと
- 三、契約成立後契約者は保險期間を短縮し又は保險料の減額をなし得ること
- 四、保險料は月額一圓五十錢及び三十錢の三種である
- 五、保險料と保險金との割合は保險期間保險料及び加入年齢によつて異なるが保險料一圓に對する十五年満期の場合の保險金は被保險者の死亡年齢が四歳未満の時六十圓以上一歳を増す毎に廿圓

のときは六十圓以上一歳を増す毎に廿圓を加へ滿十歳及び一歳のときは二百圓滿十二歳以上満期までは加入年齢に依り二百七十六圓乃至二百六十圓である

●平地方 ●平地方で

を加へ滿九歳に達すれば百八十圓となり滿十歳以上満期までは加入年齢に依り百九十圓乃至八十六圓であるまた保險料一圓に對する廿年満期の場合における保險金は被保險者の死亡年齢が四歳未満

平町始めての貧血病 食肉用屠殺の際發見

昨日平屠畜場が大騒ぎ 間もなく斃死した

平町堤の内武島清三郎は昨日平屠畜場に於て食肉用として十歳の牡馬を屠殺せんとしたが

立會の 土屋技手検診の結果目下防疫に努めて居る傳染性貧血病に冒されて居る事判明屠殺を中止したが昨夜遂に斃死した、平町

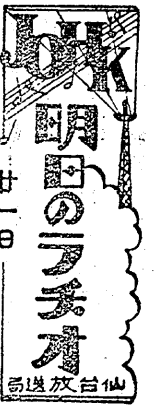
には始めて同疫馬を出した事とて場内外を嚴重に消毒し大騒ぎを演じた因に

同馬は 十七日石城郡平窪村字富田牛馬商鈴木米次郎から買受けたものであるが同人は目下不在の爲め傳染系統は判明しないと

押し賣人は 即刻平署へ

ニセ大學生が多い 断れば悪口や脅迫

十九日某大學の正服正帽を着けた一見二十四五歳位の男が「自分は大學生であるが學費を得るためこの暑中休暇を利用して行商して居るものであるから鉛筆を買



明日の天気

今晚の部

- 後六、〇〇 子供の時間 佛教童話と兒童劇 仙臺 東本願寺日曜學校生徒
- 後六、三〇 東西文學の比較 「日米現代文學の比較」 (四) グレン・シヨウ
- 後七、〇〇 全國ニュース 官廳ニュースを含む 河北新報社 ニュース 氣象 通報 告知事項 番組豫告
- 後七、三〇 趣味講座 「我が郷土の傳説、北九州の巻」 (彦山の傳説をたづ
- 前六、〇〇 ラヂオ体操

明日の部

- 前六、三〇 夏期英語講習 「初等科」 (十二) 寺西武夫
- 前九、〇〇 氣象通報
- 前九、一〇 料理献立 一 レビュー 饅頭 二 雞肉茶 三 ほうめん 茗荷の清汁 菊
- 前九、三〇 夏期講習 地貞子 日用品值段
- 前九、三〇 夏期講習 「洋服補綴」 (二) 高木美代子
- 正午 時報
- 後〇、〇五 映畫物語 「かごや大納言」 鈴木梅龍
- 後〇、四〇 全國ニュース 河北新報社 ニュース 氣象 通報 告知事項
- 後二、〇〇 講演 「遠洋航海と終りて」 練習艦隊參謀 海軍中佐松永次郎
- 後四、〇〇 全國ニュース

「コブ取り」爺さん

悲觀の餘り縊死

石城郡内郷村大字宮宇平太郎杉本久作方赤津萬吉(八)は最近片頬に大きなコブが出来夫れを治療せんと氣を揉んで居たがコブは取れぬのみ益々大きくなつて苦痛が増すばかりである爲め是れを悲觀し十九日午前二時頃縊首したのを家人が発見平署員検視したと

農家大弱り

畑作物が枯死 石城地方の海岸は連日の早天續きで河童連で非常な賑

規定の型を 遵守せずに 亂獲相次ぐ有様

平地方における鮑の需要は茲三四年來にわかに増加し石城郡下の各濱で捕獲する大半は消化してゐる状態であるのを

奇貨として本縣規定である大きさの直径三寸五分以上を嚴守せずして甚だしきに至つては二寸乃至二寸三分程度のものまで漁獲しこれを普通相場現在三十掛前後より四五掛見當安く走つてゐる有様で、ために昨今當業者は非常に不漁を續けてゐるといつて

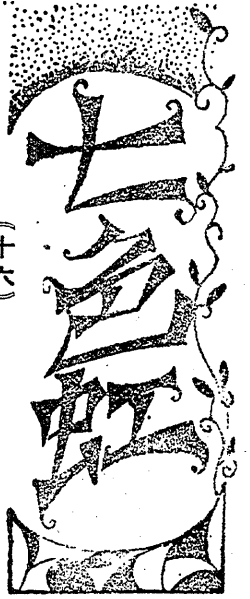
玉川校同窓會

郡玉川村小學校同窓會は本日午前九時から同校講堂で催された

平町映畫界

△平館 日活特作時代映畫 大河内博次郎、伏見直江主演 「浪人と阿片」 日活特作 淺岡信夫、廣瀬恒美、瀧花久子、濱口富士子主演 「海の祭」……

小説



(十六)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

狭妓歌治 (2)

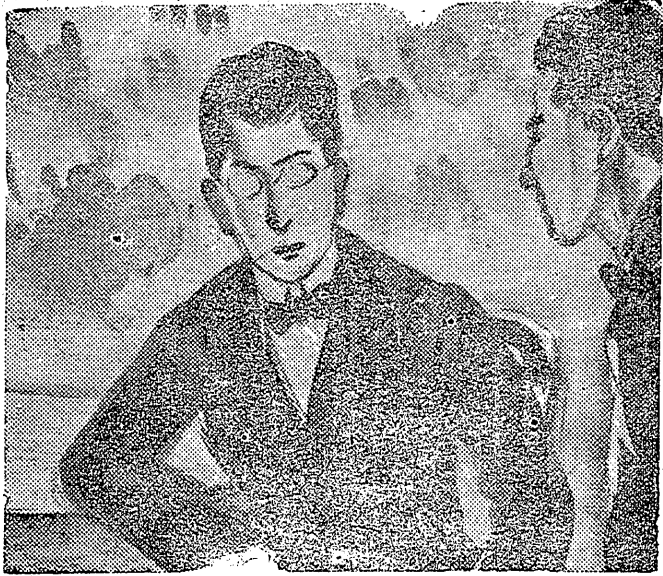
そこへ尋ねて来たのが東京の本店で會計をやつてゐる高野熊吉といふ男だつた『へへ……やつて居られませぬ』
『お、高野か。遅いなあ。今時分のそ〜やつて来てどうしたんだ居眠りでもしてゐたのか。先刻から五六度も電話をかけてゐるんぢやないか』

源之助はもう大分酔つてゐた。高野を見ると紅く充血した目を光らせて怒鳴りつける。甚だ御機嫌が悪い『いえ、何實はその何んです、もつと早く来るんでしたが、實はそのとんだ取込ごとなが……』

高野は若主人の肩に凭れかゝつて白薔薇の匂やかに時に輝やくダイヤの指輪の下から、男の口に葉巻を持つていつて、甘へるやうな媚めかしい嬌態を見せてゐる。ヨフラマ、のさながら映書から脱け出したやうな妖艶な姿に眼を奪れ、おどろした調子で言つた。
『取込事?何だ』
『いや、その……ちよつとしたことで』
高野は慌てた調子で『別に大したことぢやあり

ませぬが、そのためにツヒ遅刻しまして、誠に相済みませぬ』
『持つて来たか、金は……』
『はい、持参しました』
『いくら持つて来た。』
『え、實は何でございます川島さんにお話しましたところが、是だけ持つて行つ

嘩から手帳を出さうとする源之助はとろりとした瞳で『筆談なんか止せ、面倒だ』
『でもお差合が』
『この女か。なあにそんな遠慮をしなくともい。有難うと左様ならより外にはまるで日本語が分らないんだから』
『あ、左様ですか』
出しかけた手帳を仕舞込んでは、
『エー、丁度、五百圓だけ持参いたしました、どうぞこれでお間に合せを……』
『なあ、只つたそればかりか。チョツ冗談ぢやない』



たらよかろうといふことで……』
高野は斯う言ひかけてから、ふと氣づいたやうに源之助の傍に立つてゐるヨフラマへ目をうつして急に詞を杜切らした。
『川島も川島、僕の氣性

不機嫌そうに舌打ちして『五千圓と云つてやつたのに、十分ノ一とは情けないぢやないか、太刀剣に萬圓膏が貼れるかい、莫迦ッ』
『御道理さまで……でも支配人の命令ですから……』
『川島も川島、僕の氣性

を知らない譯ぢやあるまいし、必要な金ならドン／＼出してくれたらよさうなものなのに、吝つたれた真似をするぢやないか。彼奴この頃如何がしてゐるよ』
『いや、然ういふ譯ぢやないでせうけれども、御承知の通り財政はこの頃非常な悲況に陥つてゐるものですから、川島さんにしてもその整理方に並大抵でない苦心をしてゐられる矢先ですし、かたがた貴君への仕送りも思ふやうにならないのでございませう』
『いやそんな筈はないよ。いくら悲況に陥つたからつて百萬長者の十文字牌だ。僕の交際費の一萬や二萬は川島の手心一つで如何にでもなる、それを出し過ぎる人だからをかしい』

季節料理

井重	0.50
なな	0.70
うな	
うな	

平田町(錦水隣り) 榮 魚 424
かば焼

暑中御伺

藤沼醫院

平町紺屋町
電話五〇七番

開く……… 平野前新通りの尖端に起つ………

店内の照明装置等總べてウルトラモダン

藤彦 (電 394)

氣分第一。味覺本位

華麗な ウエイ トレス のサー ビス振 り正に エロ一 〇〇% を自負

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

内科小兒科
耳鼻咽喉科
外科花柳病科
レントゲン科

平町田町 電話五一三番

美味しいパン

パン	1斤	14
アンパン	6ヶ	10
クリームパン		04
ジャムパン		04
パン		04
甘食		04

目丁四平
ヤトモツマ
番四一二話電

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つかす無煙式 誰にも出来る理想的家庭治療器

福島縣平町五ノ廿八
志賀齒科醫院

福島縣平町白銀町九
産婆 關口悦子

特卸治 約代理 販理部 賣部

定價表

金拾參圓	藥及特効サ五週間分付上製桐箱入一揃
金拾圓	藥及特効サ五週間分付上製桐箱入一揃 (説明書呈)

吉田眼科病院

平紺屋町、電話六八番

美味! 芳醇!

宗正らいた

山崎合名會社
電話一〇番